

第82回 獣医学セミナー

山口大学動物医療センターにおける 放射線治療の変遷

中市 統三先生
(獣医放射線学)



2021年 10月27日(水) 16:00-17:00

iCOVER1階 101教室

山口大学動物医療センターは、小動物臨床において多くの紹介症例を受け入れており、1999年から腫瘍性疾患に対する放射線治療を実施している。1999年導入の常電圧放射線治療装置（オルソボルテージ）は、そのランニングコストが低いこともあり、20年以上にわたり当院で腫瘍性疾患の治療に使用されてきた。しかしその性能には限界があるために、リニアック（直線加速器）の導入が意図された。2016年に導入されたリニアックは、現在当院における放射線治療の中心になっている。またその典型的な治療対象は頭頸部の悪性腫瘍であり、全体の約90%を占めている。これらの腫瘍症例は外科手術のみでの治療は困難であるが、リニアックでは単独治療が可能になっている。今回は、この20年間に行われてきた山口大学動物医療センターにおける放射線治療を総括する。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：三宅（5913）、伊賀瀬（5897）